

役員研修「苔玉づくり」に参加して! (2021/7/18)

講師の長谷川いづみ先生(会員)のご指導のもと、役員10名が「苔玉づくり」に参加しました。ほとんどの皆さんが初めての体験でしたので緊張感と楽しみでいっぱいでした。

テーブル毎に、ケト土(粘土状)、水苔、糸、アート苔、植物苗の「ツルハナナス」が置かれ、わかりやすい説明後、作業に入りました。

〈手順〉

- (1) ツルハナナスの土を半分くらいに落とす
- (2) ケト土を15cmくらいの円形に延ばし苗に密着させる
- (3) 水苔をケト土の周りにつけ糸を巻きつける
- (4) 最後にアート苔を満遍なく巻きつけて完成

苔玉づくりは初めての体験でしたので、全ての作業に四苦八苦しながらの作品づくりでした。参加された皆さんも、真剣な眼差しで作業に取り組み、完成した時は、笑顔と喜びに満ちあふれていました。

苔玉の管理は「子育てと同じ」で、日々「愛情」をもって水やり等に十分気を配れば、数年楽しめるそうです。いつまでも大切に育てたいと思います。

コロナ感染予防の為、皆さんと会話もできなかったのは残念でしたが、とても良い研修会でした。



法人・団体 会員紹介

- ・株式会社 東郷製作所
- ・東郷町商工会
- ・東郷町施設サービス株式会社
- ・JAあいち尾東 東郷支店
- ・トヨタモビリティ東名古屋(株) 東郷春木台店
- ・原田税務会計事務所
- ・株式会社 中部理化
- ・有限会社 大盛技建
- ・豊田信用金庫 東郷支店
- ・株式会社 サンコー
- ・ウェルアート株式会社 (順不同)



2021年度・後期事業について (お知らせ)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記のとおりとします。ご理解の程よろしくをお願いします。

- ・日本語教室(後期) 10/10~オンラインで開催中
 - ・文化産業まつり……………中止
 - ・外国人防災教室……………中止
 - ・2021年度 会員研修……………中止
 - ・とうごう体操まつり……………中止
 - ・多文化共生事業講演会(期日未定)延期
- 町ホームページにも掲載します。ご確認ください。

■会員募集

あなたも、国際交流のイベントに参加し、いろいろな体験を楽しみ、新しい仲間作りをしませんか。随時、参加・加入をお待ちしています。

今年度の会費を未納の会員さんは、恐れ入りますが、年度内に納めてくださるようお願い致します。

年会費

- 個人会員 1口 1,000円
- 法人会員 1口 5,000円



■編集後記

会員のみなさん、お変わりありませんか。コロナ禍や猛暑で大変な中、1年待っての東京オリンピック・パラリンピック2020が開催されました。常に三密を意識し、自衛しながら楽しく元気に過ごしたいですね。

第33号 機関紙をお届けします。ご意見、ご要望をお待ちしています。

担当：岩瀬 文枝・近藤小夜子・近藤 安恵
杉原悠紀子・安原美恵子 (五十音順)

ふれんどしっぷ



23年のあゆみ



アフターコロナに向けた協会活動

—ご理解とご支援を—

東郷町国際交流協会会長 石川 幸生

日頃より東郷町国際交流協会の活動に対し、会員の皆様をはじめ、町内在住の外国籍の皆様、町内関係者の皆様には、ご支援ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

さて、本協会が1999年に発足して以来、今年で23年目を迎えます。

コロナ禍にあり「理解・交流・協力」の協会理念を基に積み重ねられ、継続発展してきた各事業が延期だったり、中止になったりと思うに任せない困難な状況となり、誠に残念で申し訳なく思います。

今後はアフターコロナに向けた活動を視点を据え、今まで以上に安全・安心な活動を目指した事業内容の検討や、ニーズに合った活動内容の一層の創意工夫が期待されると思います。

そのためには皆様のご理解と更なるご協力が欠かせません。アフターコロナに向けた協会活動が、より楽しく親しみのある身近な活動となるよう前向きな取り組みにチャレンジしたいと思っております。

これからも協会活動に相変わらずのご理解とご支援を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

2021年度 総会報告 (2021/4/24)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令されたり、解除後も感染者数が減少しない中、総会を5日後に控えた4月20日からは「まん延防止等重点措置」の適用がスタートしました。町内の感染者も徐々に増えていく現状で、本当に開催できるのか不安な日々の中、来賓なしでの総会開催を決めました。

開催にあたっては、密を避ける・換気手洗い消毒検温の徹底・議事進行の短縮をしっかり行った上での実施として当日を迎えました。

ご参加いただいた皆様も大変不安であったことと思いますが、56名の方々にご参加いただき、議案の事業報告・決算報告、新役員人事(案)、事業計画(案)・予算(案)の全てをご承認いただき可決されました。

○次の役員人事が承認されました。(任期:2023年3月31日)

- ◆会 長・石川幸生 ◆副会長・半田丈直、近藤直也 ◆書 記・近藤小夜子 ◆会 計・鶴田美子
- ◆常任理事・杉原悠紀子、長谷川いつ味、野々山清子、伊井友昭、原田一郎
- ◆会計監査・安原美恵子、森岡京子

○「多文化共生事業」の講演会は、延期いたしました。

○感謝状贈呈

総会終了後、設立時ころから運営等にご協力いただきました13名の方々の功績をたたえ、感謝状の贈呈を行いました。

【感謝状贈呈者】

牛田佐知子・伊関康夫・井上信子・川口一夫
川口利子・児島重子・児島利子・杉原悠紀子
戸崎一江・高尾厚子・真中マツ子・宮崎洋子
安原美恵子



～オンラインで日本語教室～

東郷町日本語教室 原田 一郎

東郷町日本語教室は、いこまい館の会議室で授業をしてきましたが、2020年の前期授業からコロナ禍の為にいこまい館が閉館になり授業ができなくなりました。このことを知らなかった学習者は、教室初日になんげと帰りました。いつから開館できるのか判断できない中で、後期授業からは、オンラインによるズーム授業をやってみようという計画しました。

教室ボランティアの先生たちは、パソコンの使用も不得手の人が多く、ズームの使い方も初めての人がばかりで混乱しましたが、コロナ禍の中にあっても授業を止めないよう何度か練習を重ねました。また、ズームの参加方法が分からない学習者には、申し込み受付時やメールのやりとりで解るように対応しました。

学習者は、ブラジル人や中国人が多数でしたが、最近ではベトナム、インドネシアからの技能実習生が大半を占めています。今後もこの傾向は続いていくと思われませんが、できれば東郷町に定住する外国人の参加者を増やしていきたいと思っています。

教室は日本語能力別にA、B、Cの3クラスに分かれています。内容は初級日本語で、東郷町の生活や仕事先での会話に困らない程度の日本語を目標に勉強します。

ズーム授業は、先生と学習者が表情や態度で生に通じ合う対面授業と違って、画像を通して言葉を教えるために、資料作り等の準備に工夫がいらします。学習者達にできるだけ日本の文化や暮らしを理解してもらえようと、教科書どおりでない楽しい授業を心がけています。

コロナ禍が収まれば対面授業に戻る予定です。それまでは現状に合わせてズームによるオンライン授業を充実させ、一人でも多くの外国人が東郷町日本語教室で学び、地域の住民との共生が図れるように活動を続けていきます。

